

新版 新学校劇集 6

岡田陽 編
落合聰三 郎



玉川学校劇集 6

岡田陽 編
落合聰三郎

玉川大学出版部

770 (NDC)

おかだ あきら
岡田 陽
おちあい そうごろう
落合 聰三郎

新版 玉川学校劇集 6

玉川大学出版部 1978

226 pp. 22cm

編者との申合せ
により検印廃止

新版 玉川学校劇集 6

昭和五三年六月二五日 第一刷

編者

おかだ あきら
岡田 陽
おちあい そうごろう
落合 聰三郎

発行者

小原 哲郎

発行所

玉川大学出版部

東京都町田市玉川学園
TEL 〇四二七(三)九一一
振替 東京 二六六六五
郵便番号 一九四

印刷・製本 鶴ケイ・エム・エス
万一乱丁落丁がありましたらお取替えします

(分) 2337 (製) 14055 (出) 4355

日本音楽著作権協会第7800435号許諾済

目次

低学年向き

からすときつね

岡田 陽

1

劇あそびの自然な発展として書かれた舞台劇。有名なイソップのお話をもとにした、リズムミカルで楽しい劇。学級全員で、クラスでの劇あそびの楽しいふんいきそのままでやれそう。

せまい橋

永井鱗太郎

19

ひとりしか通れないせまい橋のまん中で、やぎとやぎとが出あって、どちらも先をゆずろうとせず、おしあいを始めたので、二ひきとも谷底へおちてしまいました。さて、みなさんだったら、どうしますか。

中学生向き

桃太郎

富田 博之

39

桃太郎は、笛をふくのがすきで、森のけものたちの人気ものです。桃太郎の村にも、おそろしいオニが出て、子どもたちをさらっていきます。さあ、桃太郎はどうしたでしょうか。昔話桃太郎をあたらしい劇にしたもの。

ドクトル・キコリが
やってきた

生越 嘉治

73

お姫さまの不思議な病気をなおしてくれるというので、苦心して遠い国から連れてきた「ドクトル」は、いきなりお城の木を切り倒しはじめました……。子供たちの創造的表現を引き出そうとした新しいスタイルの劇。

ひょうたん童子^{わらし}

小林 嘉彦

103

高学年向き

赤とんぼの誕生

蓑田 正治

124

米つくり

小川 信夫

14X

風と太陽

イソップ
J・B・シックス
有地ゆり訳

164

「鬼」 「ゴッロ」

ふじたあさや

175

貧しいおじいさんとおばあさんに、夢にも思わなかったしあわせがやってきました。が、つい調子にのりすぎて、しあわせはつかのまの夢と消えてしまいました。誰もが持っている心の弱さをえがいた人形劇です。

夏の終わり——夏の虫たちが去り、秋の虫たちが登場する。自然界のリズムは、すべての生き物の生と死を確実に支配している。嘆く虫、歌う虫——虫の世界の、明暗の対比をテーマにした劇。

狩にでて行方不明のヒメヒコが米つくりの方法を身につけ部落にもどってきた。だが長としてワニヒコは祖先の霊とともにこれを拒否する。人間の黎明期における新旧の対立と葛藤をえがくダイナミックな歴史劇。

みんなよく知っているイソップ寓話の劇化だが、効果音や照明、装置、衣裳など、登場人物以外の役割がいろいろ創意工夫できそうで面白い。外国の劇は日本人の作品と何となくちがう。

節分の夜、日本にやってきた鬼は、鬼とはいえないお人好し。人間の女の子を好きになったばかりに、だまされて宝物をとりあげられてしまう。狂言の名作を演劇遊びに生かした新形式のドラマ！

オルガンひき

A・M・
ウイリアムズ
時岡茂秀訳

192

サルを連れた貧しいオルガン弾きは、通行人のだからも見捨てられ、一文にもならない。妖精があらわれ、サルがオルガンをまわし始めると、先に通り過ぎた人々が老若貴賤を問わず踊りはじめるという、マイム劇。

サインはX

落合聰三郎

204

自動車に友達をひき殺された子ども達が、対抗策を考える。きびしい取りしまりを警察に頼んだり、安全車をつくるよう自動車会社に交渉するが、ちががあかない。そこで、自分達で自動車の交通規制を実行に移していく。

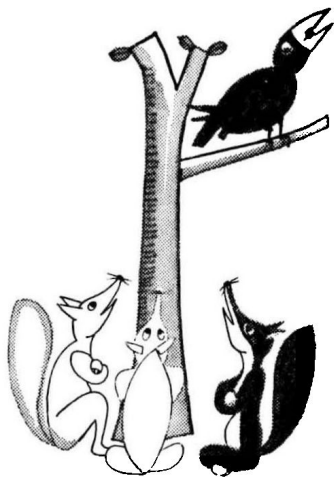
からすと きつね

〈低学年向き〉

岡田 陽 作

学 級 全 員

時間 約15分



出てくるひと

みんな くちばしをおしえる三人

はねをおしえる三人

あしをおしえる三人

はこんでくる人たち

みんなのなかの一

みんなのなかの二

みんなのなかの三

みんなのなかの四

からすになる三人

きつねになる三人

みんな、うたいながら出てきて、ぶたいのおくのほうにならぶ。うしろの列になる人

は自分で椅子を持ってきて、その上に立つ。(1)

う た (曲1)

みんな ぼくたち ともだちだ

なかよし なかま 元気にあそぼう

これから はじまる 劇あそび

演出の手引き

(1) ここはむしろ整然とやらないほうがいい。音楽にのって、リラックしたふんいきでやってほしい。「みんなのたのしい……」から、正面むいて歌えるようにと指導する。

みんなの たのしい 劇あそび

ことば(2)

なにを しようかな

なにに なろうかな

なにをして あそぼうかな

そうだ

からすときつねの劇にしよう

からすときつね

カアカアからすと

コンコンきつねの劇

う た(曲1)

みんな ぼくたち ともだちだ

なかよし なかま 元氣にあそぼう

さあさあ はじまる 劇あそび

からすときつねの劇あそび

三人の子(からすになる)前に出る。(3)

三人 からすって何だ? おしえておくれ。

(2) このことばは何人かずつでわけていう。はつきり、わかるように。

(3) みんなの中から出る。以下のことばはリズムを感じていうこと。

みんな からすつてとりだ。空とぶとりだ。

三人 からすは何でなく？

みんな からすはカアカア

あまったれて カアカア

かあさん カアカア

三人 からすのくちは？

みんな からすのくちは？

みんなのなかから三人出てきて、からすになる子に、くちばしのかっこうをおしえる。(4)

でてきた三人 とんがったくちばし

みんな とんがったくちばし

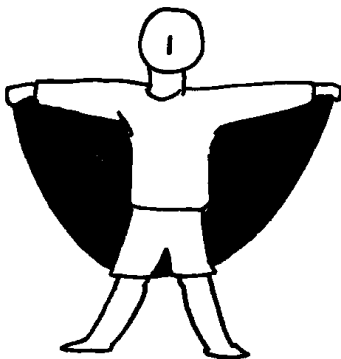
三人 からすの羽は？

みんな からすの羽は？

みんなのなかから、べつの三人が出てきて、からすになる子の羽をつくるふりをする。(5)

べつの三人 まっくろけの羽だ。

からす



(4) からすになる子の口もとから、すっと大きなくちばしをつくる感じ。

(5) 両肩に大きなマントをかけ、それをなでる感じ。どうやったら羽ができたように見えるか工夫させる。

みんな まっくろけの羽だ。

三人 からすの足は？

みんな からすの足は？

みんなのなかから、ほかの三人出てきて、からすになる子に、からすのあるき方を
おしえる。(6)

ほかの三人 ほそーい足で、チョンチョンとあるく。

みんな ほそーい足で、チョンチョンとあるく。

三人 からすはとぶよ カアカアカアカ

みんな からすはとぶよ カアカアカアカ

三人、からすになって、とびまわる。

みんな からすになったかい？

三人 からすになったよ。

そこへ、キャタツを三つはこんでくる。(7)

みんな それは何だ？

はこんでくる人たち これは木。原っぱにつたっていている三本の木。

(6) からすになる子の足もとをみながら、自分でやって見せ、からすになる子は、その真似をする。以上三つの動作は、出来ることならからすの生態観察をさせてほしい。

(7) 高い台でもよい。学童用一人机の上に椅子をくくりつけるか。学芸会なら準備係の上級生にはこんでもらってもよい。手早くはこびこむことが大切。

みんな さあさあ これでじゅんぴはできた。さあ はじめよう劇あそび。からすと

きつねの劇あそび。(8)

からすになった三人、とびまわる。

からすたち カアカアカ

みんな いい天気、いいきもち

からすたち カアカアカ いい天気、いいきもち

おなががすいたよ カアカアカ

みんな 何かないかな？ うまいものないか？

三羽のからす、地面に何かみつける。(9)

からすたち あれ？ これ何だ？

みんな 三羽のからすは 何かをみつけた

からすたち 何だろう？

みんな 何だろう？ それはチーズ。

からすたち うまそうなチーズのかたまり。

みんな からすはチーズを口にくわえて、木の上にとまって、それからゆっくりチー

ズをたべる。

(8) これからはじまるきつかけをつける大事なことばだから、特別大きく、元気よく。

(9) キヤタツの足もとに、セロテープでつけておく。口にくわえられる程度の大きさ。スポンジか綿で軽くつくり黄色に着色する。

からすたち、キャタツの上にのぼる。(10)

みんな いただきます。うまそうなチーズ。

あわてた音楽。

きつね三匹でてくる。

みんな そこへきたのは、

きつねたち コンコンきつね。

みんな とがったかおに、とがったみみ。からだぜんぶに茶色の毛。ながくてふとーいしっぱ。

きつねたち、そのようなふりをする。(11)

みんな 三匹のきつねたち、何しにきたんだ？

きつねたち (走りながら) はらがへって、はらがへって、たまらない。においがした

んだ、チーズのにおい、チーズはどこだ、うまいチーズはどこにある。(12)

みんな そこにはないよ。チーズはないよ。チーズは木の上、からすがくわえてる。

きつねたち あ、あそこだ。おい、からす、チーズをよこせ。うまいチーズを、おれ

たちによこせ。

(10) キャタツをまたいですわる。

(11) 茶色のセーターを着るぐらいで、他に何もつけない。動作で表現する。そう見えるかどうか、工夫させてほしい。

(12) 走りながら、さがし、においをかく。

からすたち、イヤイヤとくびをふる。(13)

みんな いやいや、いやだよ、やらないよ。

きつねたち なに？ いやだ？ よーし、とってやるぞ。

きつねたちは、からすたちにとびかかろうとするが、とどかない。

みんな だめだ、だめだ、とどかない。コンコンきつねには 羽がない。木の上までは、とどかない。

きつねたち しゃくだなあ。(14)

チーズ、ほしいなあ。

あのチーズ、どうしたら、とれるかなあ。

何かいいかんがえ、ないかなあ。

きつねたち (みんなに) ねえ、何かいいかんがえ ないか？ (客席にも) ねえ、何

かいいいかんがえない？

みんな 何かいいかんがえ

みんなのなかのー ハーイ、いいかんがえ

きつねたち どんなかんがえ？ (15)

みんなのなかのー パチンコで、からすをうちやえ、びっくりしてチーズをおとす。

(13) 十回ぐらい、ながくくびをふる。

(14) ことばは三人でわけていう。動作は三人とも同じである必要はない。

(15) みんなのなかの一のそばへ三人ともかけより、充分間をとって集中させてからアイディアを語る。

みんなのなかからパチンコが三つでる。(16)

きつねたち そのいいかんがえ、やってみよう。

パチンコをうけとって、タマをうつ。

みんなA ピューッ

みんなB サッ (17)

みんなA ポン (18)

みんなB サッ

みんなA ビュン

みんなB サッ

タマがとんでくると、からすたち、すばやく身をかわした感じ。

みんな あたりません。いいかんがえじゃありません。

きつねたち 何かほかにいいかんがえ。ホラ何かほかに

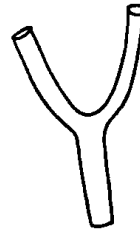
みんなのなかの二 ハーイ、いいかんがえ。

きつねたち どんないかんがえ？

みんなのなかの二 のこぎりをもってきて、木を切っちゃう。からすはおどろいて、

(16) 椅子といっしょに持って出ておく。

パチンコ



(17) 全体を左右二つにわけ、A B とする。

(18) きつねたち、二発目のタマをうつ。

チーズをおとす。

みんなのなかから、のこぎりが三ちようでる。(19)

きつねたち そのいいかんがえやってみよう。木を切るぞ、それ、ギッコ、ギッコ

みんな ギッコ ギッコ、がんばれ ギッコ それゆけ ギッコ ギッコ ギッコ

(何どかくりかえす)

きつねたち だめだ、つかれちゃって、もうだめだ。かたくて、とつてもきれやしな

い。だれかほかに、いいかんがえ、ホラ、ホラ、何かいいかんがえ

みんなのなかの三 ハーイ、いいかんがえ

きつねたち どんないいかんがえ?

みんなのなかの三 ダイナマイトでばくはつさせちゃえ

みんなのなかから、ダイナマイトが三こでる。(20)

きつねたち うーん、よし、そのいいかんがえ やってみよう。ダイナマイトの大ば

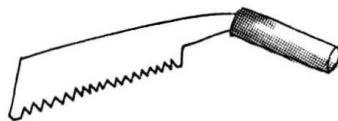
くはつ。さあ、火をつけるぞ、耳をふさげ、目をつぶれ。

みんなA シュルシュルシュルシュル

みんなB シュルシュルシュルシュル

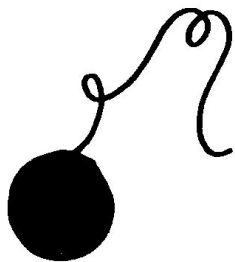
みんなA シュルシュルシュルシュル

(19) ギザギザの歯のついた大きなノコギリ。本物でなく、つくりものの方がよい。パチンコはみんなの足もとにおく。からすはギッコのリズムにあわせてゆれる。



のこぎり

(20) 黒い大きなカタマリ。導火線が二メートルぐらいついている。



ダイナマイト

みんなB シュルシュルシュルシュル

きつね そら

みんな ドッカーン

みんな、大げさにゆれたり、ひっくりかえったりするが、からすたちはキョトンとしてゐる。(21)

(21) 鳥類独特の首の動きが観察でとらえられるとよい。

きつねたち だめー、ぜんぜんだめ。なぜか、からすは平気なかお。

きつねたち だれか、もつと何か、いいかんがえないのか？

みんなのなかの四 ハーイ、いいかんがえ、いいかんがえ、これはとってもいいかんがえ。

きつねたち なんだよ、はやくいえよ。(22)

(22) 四にすっかり集中させてから。

みんなのなかの四 からすにうたをうたわせる。

きつねたち からすにうたを？ それがいいかんがえ？(23)

(23) いい考えだとは思えない。

みんなのなかの四 まあ、いいからやってごらん、ぼくがタクト、みんながばんそう。

う た。(曲3)(24)

(24) 四は前へ出てタクト、みんな大きくゆれながらリズムをとる。

みんな

ンララ ンララ ンララ ンララ(くりかえす)

きつねたち